

川西市の今後5年間の政策

主な事項についての考察

基本計画（案）の縦覧、市民意見募集を経て、議員からの意見聴衆が行われました。

川西市の向こう5年間の基本的な政策が示され、総合構想の具体化ですから、おおよそ「大塩市政」の取り組もうとする内容が見えてきていますので、私見を混ぜて報告します。

生活分野で支出を抑える

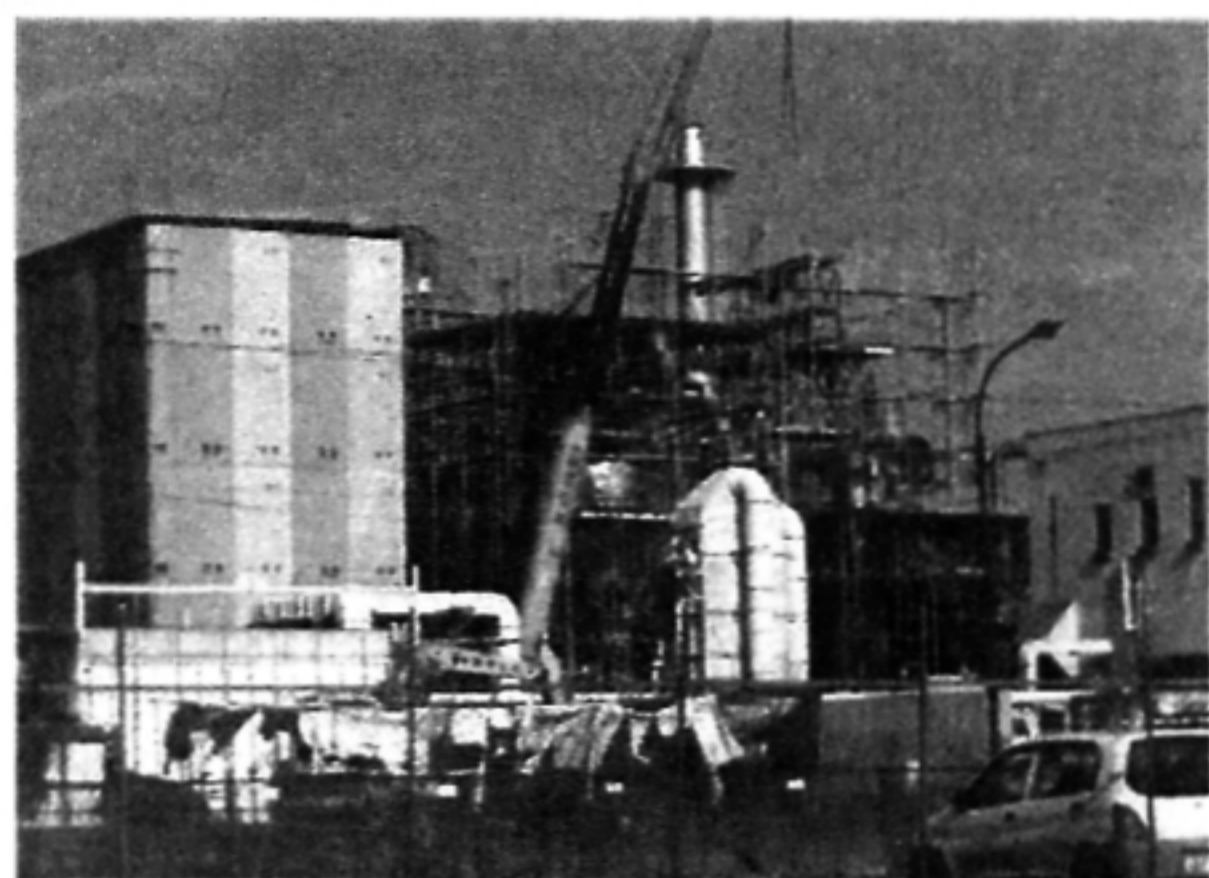
市民サービスを抑える方向性が見えます。無駄な事業はやめるべきですが、老朽化する市営住宅の廃止方向は出されるが拡充はしない。国民健康保険税の引き上げ、高齢者お出かけ支援事業の縮小、大型ごみの有料化、適正な幼稚園運営として「幼保一元化」で縮小など。

「まちのにぎわい創出」で中央北地区へ特化

10年間、90億円の総事業費の中で約80億円は「公費」がらみの財源で賄います。新たに文化会館の建て替えを中央北地区で行いたいとの提案がされており総事業費が50億円。当然「公費」で行います。土地の売却などで手当てもされますが土地そのものも市民の財産であり、市民全体へ還元されていくもので、一部の地域だけでなく、川西市全体のまちづくりを考えて予算を組み立てるべきものと提言しています。

市民体育館の建て替え

老朽化に伴い緑台高校に隣接する市民体育館を、平成28年度末完成を目途に、現体育館駐車場に新設する方向で調整しています。総事業費は10億円。



解体が進む旧火打前処理場

市民の財産は市民へ還元すべき

「安心」のまちにするためには

医療体制の充実、なかでも要の市立川西病院を「第二次医療機関・公立病院」として拡充すること。国保、介護、障がい者施策など拡充すべきですが計画案の中に突出するものとしては見えてきません。「病後児保育園」の実現がやっと出てきました。

若者対策がなかなか進んでいませんが、ひきこもり問題を改善させたい方向性は出てきました。

しかし安心して川西で子育ても含めて住み続けていきたいとの思いに至ってくれる若者を、いかにして増やすかが大きな課題であり、将来にわたって川西を元気な街にするポイントでもあります。

まちで子どもの声が絶えずする街こそ、高齢者にとっても安心できる街ではないでしょうか。



よし **くらしの**
「由さん」の 便り
2013年 1月 303号

川西市議会議員（日本共産党）

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

加茂遺跡の活用と

25年度予算について

国の悪政から住民の暮らしを守るための政策を実施せよ

住田の質問

国は消費税の引き上げ、震災復興増税、年金の引き下げ、一人親家庭や障がい児への手当をカットしてきている。川西市民の暮らしを守る予算にすべきではないか。

また、市民が希望持つことができる政策を打ち出すべきだ。

福祉政策も国や県基準に従うのではなく、独自政策で上乘せすべきだがどうか。

行政側の答弁

国が行う施策は国が対応。市としては平成25年度から始める総合計画にのっとり事業を展開する。(事業の具体的発言は一切なし)

小規模小売店への支援

住田の質問

地域で頑張るお店屋さんを支援すべきだ。中心市街地での税金支出が突出している。市内全体へバランスよく目配りすべきだ。

行政側の答弁

商店会などが行うイベントを支援していく。市の顔である中心市街地へ支援するのは市の元気を継続させるもの。中央北地区への財政出動も地域の整備、公園や道路の整備であり市民への貢献と考える。だから財政支出は妥当である。

住田の質問

市財政は硬直していると考える。市民の福祉増進への対策はどのようにするのか。

行政側の答弁

学校耐震化など、市民の安全のため緊急に財政投資を行ってきたという要因がある。改善策として民間活力の導入、公債費負担の平準化など行い、中期財政計画に沿って健全な運営を行ってきたい。

土地活用の道筋を今つけるべき

住田の質問

最近でも加茂遺跡集落入り口付近と斜面環濠の一部を購入している。これらをどうしていくかプラン・計画をつくるべきではないか。

行政側の答弁

現在2.8ヘクタールが国史跡指定になっており、あと3.4ヘクタールを追加し6.2ヘクタールを国史跡指定にしていく考えです。

この2年間、加茂遺跡保存活用構想検討会議を開催して学識経験者の意見など聞いている。課題として買収する費用の面、すでに取得している土地は点在している、多くは住宅が張り付いており、対策や計画づくりにはもう少し時間が必要。



市内業者の育成はどうする

住田の質問

民間活力の導入ということで、PFI方式を導入する計画があるが、市内業者の育成という観点との整合性はどうか。

行政側の答弁

厳しい財政のもとで市民サービスを充実させる責務がある。今以上に財政を効率的、効果的に活用し市民サービスの価値を高める手法の一つがPFI方式だ。

しかしすべての事業をPFI方式ですという考えはない。PFI手法を導入するのは非常に大きな高い技術力を要求される事業。環境との共生、省エネルギー対策、これからの時代にマッチした取り組みになっても来る。その事業の中に一定割合で市内業者に協力を得ていく。またそのほかの事業はこれまでのように市内業者の方にも入っていただけて行く。